

平成新山東側山麓の噴気活動*

Fumarolic activity at the eastern flank of Unzen Volcano

九州大学大学院理学研究院 地震火山観測センター**

Institute of Seismology and Volcanology, Faculty of Sciences, Kyushu University

2003年(平成15年)1月11日に平成新山東側山麓の2地点(P1, P2)から白色の噴気が立ち上がっているのが確認された(第1図)。2003年1月13日と17日の島原市との共同現地調査の結果、P1では2カ所、P2では5~6カ所の噴気孔が確認された。噴気は白色無臭でほとんどの成分が水蒸気であるが、二酸化炭素(炭酸ガス)が多く含まれていることがわかった(第1表)。ちなみに大気中の二酸化炭素濃度は約0.04%である。2003年5月および6月の調査では、気温が高いため白色の噴気はほとんど目立たないが(第2図)、温度や成分の変化はほとんどない。噴気孔には地衣類が付着しており(第3図)、特に新しい噴気孔とは考えにくい。また2001年(平成13年)1月に雲仙岳測候所が撮影したビデオにもこれらの噴気が確認されていた。

P1の下流の板底(いたぞこ)では噴火以前には炭酸泉が湧き出していたが、1975年(昭和50年)10月に高濃度の二酸化炭素が噴出して、小動物が死んだり、樹木が枯死したりする被害が出ている。

第1表 P1, P2 地点における噴気ガス調査結果

Table 1 Temperature and major components of gases from the fumaroles.

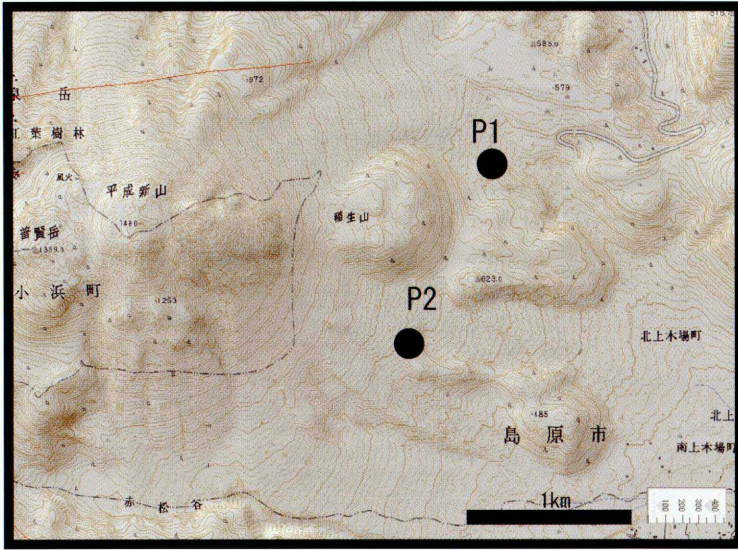
P1 地点	2003年1月17日測定	2003年5月27日測定
温度	39℃	38℃
臭気	なし	なし
二酸化炭素	0.4%	0.4%
水素	検出されず	検出されず
塩化水素	検出されず	検出されず
二酸化硫黄	検出されず	検出されず

P2 地点	2003年1月17日測定	2003年6月1日測定
温度	52℃	51℃
臭気	なし	なし
二酸化炭素	1.3%	1.0%
水素	検出されず	検出されず
塩化水素	検出されず	検出されず
二酸化硫黄	検出されず	検出されず

* Received 14 August, 2003

** 松尾のり道・清水 洋・植平賢司・杉本 健・松島 健

Norimichi Matsuwo, Hiroshi Shimizu, Kenji Uehira, Takeshi Sugimoto, and Takeshi Matsushima



第1図 平成新山東側山麓の噴気地点
 Fig.1 Map showing two fumarolic area P1, P2 at the foot of the east side of a Heisei-Shinzan lava dome.



第2図 P2地点の噴気地帯（2003年6月1日撮影）。白色の噴気は見えない。
 Fig.2 Fumarolic area P2 on June 1, 2003.



第3図 P2地点の噴気孔の1つ
 Fig.3 One of the fumaroles of P2 area.